



～栗田から心・かかわり・絆をつなぐ“ライン”を目指して～

秋田県立栗田支援学校

地域支援通信

令和5年度 第5号

令和6年1月19日発行

今回は、昨年度まで教育専門監としてたくさんの学校を訪問してきた二階堂悟先生のコラム、障害理解学習、高等部普通科と総合サービス科について紹介します。

## 《学ぶことは生きること》

二階堂 悟

「子どもたちの感情には、メッセージがあります。怒り、悲しみ、喜び、恐怖や不安、感情は子どもたちの**願いの表れ**。そして、私たちにできることは、子どもたちの内側にある願いを表現するための言葉を与えてあげること。感情を言語化することで、**自らの内面と向き合い、自分を形作っていく**のです。」副島先生はそう話します。さらに「生徒の大切な学びを止めないように、生徒の悩み、心配を受けとめ、想い、願いに寄り添う **SCHOOL のかかわり**を大切に。『**いつもと同じ**』という安全と安心の中で『**あなたは一人ぼっちではないよ**』と伝えることや生徒の言葉に耳を傾け、話を聴くことで、生徒は『**自分は守られている**』という安全安心の中で不安と向き合い、学ぶための原動力を身に付けていきます。」とも。学級づくりの参考にしていきたいものです。

### 成長・回復のためのかかわり SCHOOL

**Safety**:「安全と安心の確保」

☆ 出会い

**Challenge**:「選択と挑戦」

☆ かかわり

**Hope**:「日常の充実・将来の希望」

☆ 別れ・出発



### どんな感情も大切に！ 感情は願いを伝える役割

「**怒り**」: 他者や周囲が変わってほしいという願い

「**悲しみ**」: 苦境を分かち合ってほしい、

助けてほしいという訴え

「**喜び**」: 誰かと分かち合うことで加速される

「**恐怖や不安**」: 問題を解消しなければならない

という強い願い

病気の子どもの教育支援フォーラム

「子どもの回復・成長のために 今、私たちができること」～感情の適切な扱い方～  
副島 賢和(昭和大学大学院保健医療学研究科准教授)より

## 「障害理解学習」

本校では、多様な子どもが共に学び合い、共生社会をつくっていくためのきっかけづくりとして、秋田市内の小学生、中学生、高校生等の皆さんに向けて「障害理解学習」を行っています。

主な内容は、小学校低学年が対象の場合は、「感じ方や考え方が違っていても、誰もが大事な存在である」ことを取り上げ、「あたたかい言葉(ぽかぽか言葉)」を広げるためのポイント＝「他者と関わる時のポイント」にも応用できるようにしています。小学校高学年や中学生以上の方が理解学習の対象になる場合は、障害の特徴について知ったり、一緒に活動するときのヒントを一緒に考えたり、擬似体験をしたりします。栗田支援学校についても知っていただくチャンスです。居住地校交流の事前学習として活用していただくこともありますが、それ以外に総合的な学習の時間や道徳で「福祉」に関する学習のお手伝いとして、また、高等学校の「ボランティア養成講座」でも、理解学習の要請をいただくことがあります。



学習後にいただいた感想を一部御紹介します。「〇〇さんと交流するのが楽しみです。早く会いたいです。」(小学生・居住地校交流の事前学習)「私も、一度にたくさんのことを口頭で言われても理解できなくて焦ってしまうことがある。周りに『苦手なこと』を伝え、助けてもらうことも大切だと思った」(高校生)といった、授業内容と自分が重なるところを見付けたという感想をいただくこともあります。

# 栗田支援学校高等部 普通科

## (主な学習)

生活する力や働く力を高めるために生活単元学習や作業学習、国語、数学、音楽、保健体育、職業などの勉強をします。実習では校内実習と現場実習を行います。

## (選択コース学習(2、3年生))

選択コース学習は一人一人の目指す進路に向けて勉強を行うもので、2年生から一部の学習で以下のコースに分かれて勉強しています。

### <生活自立コース>

一日の生活リズムを整え、集団活動の楽しさや決まりを学んだり、新しい作業的な活動を体験したりして、多くの人からの支援を受けて生活することを目標にするコース

### <福祉就労コース>

社会生活体験や作業の勉強をして、生活や仕事をする力を身に付け、福祉事業所での福祉就労を目指すコース

### <職業自立コース>

卒業後の暮らし方や職場で働くために必要な知識・技能・態度などを身に付けて、企業への就労を目指すコース

## 【作業学習を中心とした教育課程】

週に2日(火曜日と木曜日)、作業学習を行っています。製品作りや販売活動等を通して、将来の職業生活、社会自立の基盤となる資質・能力・適応性や働く意欲、関心を育みます。

また、活動の意義や価値、喜びや製品完成の成就感を感じられることを狙っています。



## 【校内実習・現場実習】

早い段階から校内実習・現場実習を繰り返し、就労に向けた準備をします。進路学習を通して生徒の自己理解を深めたり、働くために必要な力を身に付けたりします。

1年生	前期校内実習(6月)	後期校内実習(11月)
2年生	前期校内・現場実習(6月)	後期校内・現場実習(11月)
3年生	前期校内・現場実習(6月)	個別実習(個々の進路実現)

<校内実習>期間は2週間です。企業から委託を受けた本物の製品(ポリパック、トリコン)を実際に扱いつつ校内で作業をしたり、農園芸作業に取り組んだりします。

<現場実習>期間は2週間です。面談で保護者と生徒からの希望を聞き、校外の実習先を決定します。実際に働いたり施設を利用したりすることを想定し、通勤や退勤、昼食の準備、作業内容など実習先の方と同じように行います。

<個別実習>卒業後の就労・施設利用を想定し、進路決定につなげるために個別に行います。



# 栗田支援学校高等部 総合サービス科

(特色) 県内唯一の知的障害特別支援学校の職業学科です。企業等への就職を目標として、職業に関する専門的な学習を行います。

(期待する生徒像) 卒業後の社会自立・経済自立を目指します。

(専門教科の選択履修制) **家政** **流通・サービス** **福祉**

1年生: 職業についての基礎・基本を広く学びます。

2年生: 就職に必要な態度・技能を高めるとともに、勤労観や自己理解を深めます。全生徒が「介護職員初任者研修」を受講し、介護職員の基礎的資格取得を目指します。

3年生: 専門3教科の内一つを選択して学習します。就職に結び付くよう、実践的・専門的な学習に取り組みます。希望に応じて様々な資格取得・技能検定等を目指します。

## 【専門教科】

### 「家政」



ランチ  
くりた

「ランチくりた」の営業等を通して開店準備、清掃、装飾、ホール接客・調理、皿洗い、会計処理、片付け等のサービス実践能力を身に付けます。

### 「福祉」



介護実習

清掃や洗濯、ベッドメイキング等介護・福祉に関する技術を学習し、福祉施設や保育所等の介護実習を行います。2年生全員が介護職員初任者研修を受講します。

### 外部清掃実習



### 「流通・サービス」



### 事務業務等



窓清掃・床面清掃等のビルクリーニング技術を学習します。また、事務・情報系の学習にも取り組み、公務員試験挑戦等多様な進路希望に対応します。

## 【校内実習・現場実習】

1年生では、前期は校内実習、後期は現場実習を実施します。自分が将来やってみたい分野・職種の施設や企業等で体験的な実習をします。2年生では、専門3教科の学習を中心に身に付けた技能や自分の適性を実際の施設・企業等で確認し、一層の技能伸長を図るための実践的な実習を行います。3年生では、雇用相談を前提とした就労見極めの実習を行います。

## 【卒業後の進路先(職種)】

介護関係、清掃関係、接客関係、販売関係、リネン、洗車、ガソリンスタンド店員、調理補助、事務職など

相談・見学の希望がありましたら、御連絡ください

秋田県立栗田支援学校

教頭：相場力 教育専門監：菅原文彦 地域支援部：照井真紀子

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

TEL：018-828-1162 FAX：018-828-4720

ホームページ <http://www.kurita-sakita-pref.ed.jp/>

メールアドレス [kurita-s@akita-pref.ed.jp](mailto:kurita-s@akita-pref.ed.jp) ※相談窓口は教頭まで

